

INFO-HIRO-21

第 505 号 2021 年 9 月 1 日
弘前大学総務部広報・情報戦略課

新型コロナウイルス感染症の状況により、イベント・行事の実施について、変更が生じる場合がございます。
最新の情報は弘前大学公式ホームページ(<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>)にてお知らせいたします。

イベントのお知らせ

「弘前大学資料館第28回企画展」のお知らせ

弘前大学資料館では、第 28 回企画展として「旧制弘前高等学校—みちのく弘前で学んだ学生たちの青春—開校 100 周年記念展示会<第 2 部>」を 8 月 30 日から 10 月 30 日まで特設コーナーにおいて開催いたします。

弘前大学の前身学校である旧制弘前高等学校は今からちょうど 100 年前の大正 10 年（1921）4 月に開校しました。

ここ弘前の地に全国から多くの優れた学生たちが集まり、そして巣立っていきました。

この企画展では当時の資料や写真から旧制弘高の歴史をふりかえります。第 2 部では一部作品を入れ替えして展示します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外者の入館を停止している場合がありますので、事前に問い合わせの上、ご来館いただきますようお願いいたします。

みなさまのご来館をお待ちしております。

■ 弘前大学資料館第 28 回企画展

「旧制弘前高等学校—みちのく弘前で学んだ学生たちの青春—

開校 100 周年記念展示会<第 2 部>」

会 期：2021 年 8 月 30 日（月）～2021 年 10 月 30 日（土）

（日・祝休館※総合文化祭開催の場合は 10 月 24 日（日）開館）

時 間：10：00～16：00（入館は 15：30 まで）

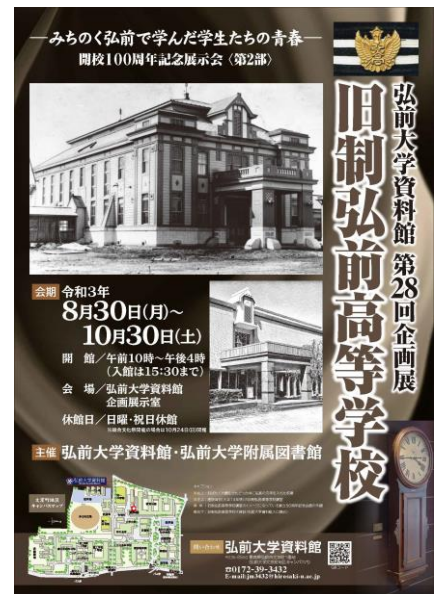
場 所：弘前大学資料館

【問い合わせ先】

弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

ホームページ：<http://shiryokan.hirosaki-u.ac.jp/>



「第23回青森県継続看護研究集会」開催のお知らせ

弘前大学保健学研究科地域保健医療教育研究センターでは、「地域で療養する人たちの意思決定を支えるために」をメインテーマとした教育講演及びパネルディスカッションを下記のとおり開催いたします。

今回はCOVID-19の感染拡大の状況から、できるだけオンラインによるご参加をお願いしています。ご参加を希望の方は下記のURL、もしくはポスターのQRコードから事前申込をお願いいたします。たくさんのご参加、お待ちしております。

・日時：令和3年9月20日(月・祝) 13:00～16:00

・会場：オンライン開催(来場可)
弘前大学大学院保健学研究科
63講義室(青森県弘前市本町66-1)

・参加費：無料(事前申込としております)

・申込：以下参加受付フォームより申してください。

[事前参加受付フォームURL] <https://forms.office.com/r/luquyVVN6W>

※受付期間は9月13日とありますが、それ以降も受付いたします。

・プログラム

○教育講演

「aging in place を実現するために ～意思決定を支え、ACPをつなぎ、紡いでいく～」

講師：宇都宮 宏子 氏 (在宅ケア移行支援研究所 代表)

座長：久保 由佳 氏 (弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター担当副看護部長)

○パネルディスカッション

「利用者の意思決定を支援する多職種によるケアと課題」

雪田 昇一 氏 (ほ～むおんナースステーション) ほか

※この事業は、公益社団法人青森医学振興会の助成を受けて開催します。

【後援】青森県看護協会

【問い合わせ】

弘前大学大学院保健学研究科 山田基矢

FAX: 0172-39-5951

E-mail: yama3010@hirosaki-u.ac.jp

第23回 青森継続看護研究集会

地域で療養する人たちの
意思決定を支えるために

2021 9 / 20 (月)
13:00～16:00
12:30～受付

[会場]
弘前大学大学院保健学研究科
63講義室
オンライン(Zoom)開催
来場可

参加
無料
事前申込
申込方法は下記のとおりです

教育講演 aging in place (住み慣れた地域で暮らし続ける)を実現するために
～意思決定を支え、ACPをつなぎ、紡いでいく～

講師 宇都宮 宏子 氏 在宅ケア移行支援研究所 代表
座長 久保 由佳 氏
弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター担当副看護部長

[内容の紹介]
認知症や加齢による変化や非認知症の懸念している人々に、看護職が、病
気の進行や、生活、暮らしの状況に寄り添い、一人ひとりに、「誰
りたいたい生活の姿を? 誰を介?」をつなぎ、紡いでいきます。最終目標、日本の家
庭看護・在宅ケア・暮らしの場における多職種連携の推進を促します。
日本が暮れればコロナ禍だからこそ、浮彫になった課題や、地域の強みを皆さん
と共有しながら、未来を夢を語り合いませんか。

パネルディスカッション
利用者の意思決定を支援する多職種によるケアと課題
雪田 昇一 氏 ほ～むおんナースステーション ほか

ALS療養の進め方・進め方を支える多職種における連携の課題と、支援を行うにあたってそれ
ぞれの職種で抱えている課題を皆さんと共有し、今後の多職種における意思決定支援の役割を
共に考えたいと思います。

申込
方法
9月13日(月)までに以下の方法で申し込みをお願いします。
皆さんの都合でできる方法を選んでお申し込みください。

①QRコードでの申込 ②メール等での申込 ③問い合わせ

本集会は保健学研究科地域保健医療教育研究センターの一環として
実施いたします。 助成:公益社団法人青森医学振興会 後援:青森県看護協会

弘前大学大学院保健学研究科
山田 基矢 (やまだ もとや)
TEL & FAX: 0172 (39) 5951
E-Mail: yama3010@hirosaki-u.ac.jp

「第 20 回青森糖質研究会」開催のお知らせ

「青森糖質研究会」は、青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上、さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し、産学官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強会を開催するなど、諸活動を続けております。令和3年度は「新しい生活、新しい技術、新しい価値」をテーマに4講演が行われます。

1. 日 時：令和3年10月15日(金) 13:30～

2. 開催形式：Web 開催 (Teams 利用)

3. 対 象：糖質科学や産学官連携に興味のある各方面の方、学生の皆様

4. プログラム

13:30～ 開会の挨拶

13:35～ 新技術紹介

「近赤外線分光法による食品成分の非破壊分析とディープラーニング」

花松 憲光 (青森県工業会)

14:20～ 「糸状菌の細胞表層多糖の役割とその変異株の応用利用」

吉見 啓 (京都大学大学院 農学研究科)

15:25～ 「カシス抽出物による血管保護作用」

堀江 香代 (弘前大学大学院 保健学研究科)

16:10～ 「漢方薬と腸内細菌～大建中湯を例に～」

西山 光恵 (株式会社ツムラ 漢方研究開発本部 ツムラ先端技術研究所)

16:55～ 閉会の挨拶

5. 参加費：無料

6. 主 催：青森糖質研究会 (会長：柿崎 育子)

共 催：ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部

後 援：(公財)水谷糖質科学振興財団

7. 申込方法：必要事項 (氏名・ご所属・お役職・ご連絡先電話番号) を明記の上、
10月1日 (金) までにメール (kaki@hirosaki-u.ac.jp) にてお申込み
ください。

8. URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

【問い合わせ先】

青森糖質研究会事務局

弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター

糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子

電話：0172-39-5542 FAX：0172-39-5016

E-mail：kaki@hirosaki-u.ac.jp

「第1回青森県感染対策協議会(AICON)市民公開講座」開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の発生から1年以上が経過していますが、今なお、医療機関だけではなく、行政や社会全体が対応に迫られています。ワクチン接種も進められ、この状況はまだ続くものと考えられます。

青森県感染対策協議会では、新型コロナウイルスの最新の情報を提供することと、基本的な感染対策の一つである手洗いや手指消毒について市民公開講座を開催いたします。

事前申し込みが必要で先着50名となっております。皆さまのご参加をお待ちしております。

- ・ 日 時：令和3年10月30日(土)14:00～15:30
(開場：13:30～)
- ・ 場 所：弘前駅前公共施設ヒロロスクエア4階
市民文化交流館ホール(弘前市駅前町9-20)
- ・ 内 容：「新型コロナウイルスとワクチンについて」

- ・ 対象：一般市民(定員50名)※先着順

※当日、熱、咳の症状のある方は参加をお控えください。

また、流行状況によっては急遽中止となる場合がございますので、ご了承ください。

- ・ 入場料：無料

- ・ 申込方法：令和3年10月15日(金)までに、電話でお申し込みください。


※期間内に定員に達した場合は、その時点で受付を終了します。

【申込・問い合わせ先】

弘前大学医学部附属病院感染制御センター

TEL：0172-39-5176 (直通) ※平日9:00～16:00

[青森県感染対策協議会ホームページ] <https://www.aicon-ict.com/>



第1回
AICON 市民公開講座
Aomori Infection Control Network
青森県感染対策協議会

～新型コロナウイルスと
ワクチンについて～

開催日時：令和3年10月30日(土)
14:00～15:30 (開場13:30)

〒036-8003 青森県弘前市大字駅前町9-20

会場：弘前市民文化交流館ホール(ヒロロ4階)

対象：一般市民 50名(入場無料・要申込)

講師
齋藤 紀先 先生
弘前大学大学院
感染制御学専攻 准教授
弘前大学医学部附属病院
感染制御センター 副センター長

申込期限：10月15日(金)
※定員に達した時点
申込先：0172-39-5176
平日9:00～16:00

プログラム
13:30 開場
14:00 開会のあいさつ
14:05 (10分) 講演
14:35 (10分) 質疑応答
14:45 (40分) 手洗いコーナー
15:25 開会のあいさつ
15:30 閉会

14:45～の手洗いコーナーでは、実際に手洗いをしながら、医療スタッフと一緒に手洗いの仕方を確認してまいります！

主催 青森県感染対策協議会 (AICON)

お問い合わせ AICON事務局 弘前大学医学部附属病院 感染制御センター
〒036-8503 青森県弘前市本町53 TEL: 0172-39-5176 FAX: 0172-39-5414

所在地 青森県 弘前市 弘前大学医学部附属病院

「2021年度放射線看護ベーシックトレーニング」Web開催のお知らせ(再掲)

大学院保健学研究科では、平成29年度から放射線看護教育支援センターを設置し、看護教員・看護職を対象とした研修会等を行っています。

本研修会は、平成28年度に文部科学省の「機関横断的な人材育成事業」に3年計画で採択された公益社団法人日本アイソトープ協会の「看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング」の後継企画であり、本学主催での開催は今年で3年目となります。放射線看護関連科目を担当できる教員の育成や放射線及びその健康影響・リスクについての知識を身につけた看護職の育成が目的となっております。興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。

- ・開催日時：令和3年11月6日(土)
13:00～17:20 (質疑応答を含む)

- ・開催形式：Web開催 (Zoom使用)

・プログラム

時間	内容
13:00～	開講式
13:10～14:10	●測定実習① 自然放射線の理解 (テキストの演習 1, 2, 3) 『放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察』
14:10～14:20	休憩
14:20～15:20	●測定実習② 外部被ばくに対する防護方策 (テキストの演習 4) 『放射線防護の基本となる事項 (時間, 遮蔽, 距離)』 ※電卓使用
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30	●測定実習③ 移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策 (テキストの演習 5) 『撮影現場における線量の把握』
16:30～17:00	Q&A
17:00～17:10	大学院の紹介
17:10～17:20	閉講式・アンケートの依頼

※別途、事前学習としてeラーニングの講義を受けていただきます。

※このほか詳細は本事業HPでご確認ください。

〈被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP〉 <https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

- ・対象者：看護職の方、看護教育に関わる教育機関の先生方 (先着 40名)
- ・参加費：無料 (※別途テキストの購入が必要です)
『改訂版 看護と放射線』 (日本アイソトープ協会刊行 / 定価 2,500円+税)
- ・申込み方法：事前申し込み制。次の専用フォームからお申し込みください。
〈放射線看護ベーシックトレーニング申込フォーム〉 <https://forms.office.com/r/z0PzPwMmak>
- ・申込開始日：令和3年8月2日(月) ※申込先着順で定員に達し次第受付終了とさせていただきます。



【共催等】

共催：弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター
京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター／放射線部

【問い合わせ先】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）
電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912
メール：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

「令和3年度弘前大学大学院保健学研究科 FD 講演会」開催のお知らせ(再掲)

弘前大学大学院保健学研究科では、令和3年度FD講演会を下記のとおり開催いたします。事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

■日時：2021年9月30日(木)17時00分～18時30分

■会場：弘前大学医学部保健学科 第63講義室
※状況によりオンライン開催へ変更する
場合があります

■講演名
「ループリック評価基準の作成方法」

■講師
佐藤 浩章先生
日本高等教育開発協会 会長
大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部 准教授

■参加費：無料

【問い合わせ先】

弘前大学大学院保健学研究科学務グループ
電話：0172-39-5911
※当日は、パソコンをご持参ください。

令和3年度FD委員会講演会
ループリック評価基準の
作成方法

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？
評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思ったことはありませんか？ループリックがそんな悩みを解決してくれます。
ループリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本講演会ではループリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、自らの授業で活用できるループリックを実際に作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけでなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

講師
佐藤 浩章 先生
日本高等教育開発協会 会長
大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部 准教授

令和3年9月30日(木) 17:00～18:30
会場 弘前大学医学部保健学科 第63講義室
参加費無料、事前申込不要
※状況によりオンライン開催に変更する場合があります。

※当日は、パソコンをご持参ください。

○プログラム
17:00 開会挨拶（研究科長：齋藤陽子）
17:05～18:30 講演（質疑応答含む）

主催：弘前大学大学院保健学研究科FD委員会

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？
評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思ったことはありませんか？ループリックがそんな悩みを解決してくれます。ループリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本講演会ではループリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、自らの授業で活用できるループリックを実際に作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけでなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

学内掲示板

弘前大学出版会からのお知らせ

Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編「Radiation Environment and Medicine Vol. 10 No. 2」(A4変形判・pp.55-121、定価1,210円税込)を出版しました。

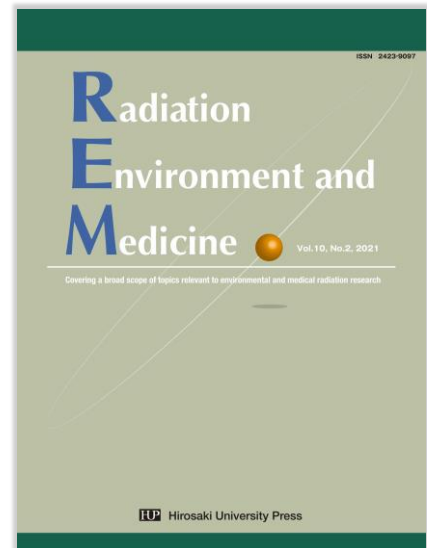
[紹介文]

弘前大学は、原子力関連施設を擁する地域的な背景を踏まえ、平成20年度から被ばく医療体制の整備、被ばく医療に関わる教育・研究ならびに人材育成に取り組み、これまで多くの成果をあげてきました。

東日本大震災後の原発事故対応ではこの成果が避難所での支援活動や様々な学術調査などの社会貢献につながり、こうした被ばく医療への取り組みは弘前大学の意欲的かつ特色ある事業の一つとなっております。

また平成27年に原子力規制委員会から原子力災害医療に対応する施設として「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」に指定され、平成30年度末には指定更新を受けて引き続き両センターの活動を継続する事となりました。

これまでの弘前大学による被ばく医療関連の人材育成事業の一環として平成24年3月に刊行を開始した被ばく医療に関する学術誌 Radiation Emergency Medicine は、第5巻1号から、より広い分野からの投稿に対応する目的で、誌名を Radiation Environment and Medicine に改めました。第10巻2号には、放射線生物影響、放射線計測等の9報の論文が掲載されております。今後も放射線防護、線量評価、生物影響、放射線計測、被ばく医療教育、放射化学分析、放射線看護、疫学調査、臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。皆様からの投稿をお待ちしております。



国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第60号」では、「Challenge! 国立大学」において、弘前大学附属図書館の取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第60号」

https://www.janu.jp/wp/wp-content/uploads/2021/08/janu_vol60.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<https://www.janu.jp/janu/report/koho/>

その他、第58号・第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：INFO-HIRO-21は毎月1日、月1回発行しています。
講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿は発行予定日の7日程度前までに、掲載希望の旨
付記し、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

【担当】総務部広報・情報戦略課 広報室 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp TEL:内線2015 FAX:37-6594